



من الشعب الياباني
له خهلكى ژاپون

From the People of Japan

UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE

イラクの新規解放地域における復興促進事業:ラマディにおけるアンバール大学避難民女子学生向け居住施設の修復

2016年10月4日、国連人間居住計画 (UN-Habitat) は、アンバール州ラマディにあるアンバール大学の居住施設の開所式典を開催しました。この居住施設は、日本政府の支援を受けて実施されている「イラク国内の解放地域における都市復興促進事業」の一環として修復されたものです。

ラマディ市街地の公共施設や主なインフラと同様に、アンバール大学の校舎はイスラム国によって支配受け、紛争によって大きな損害を受けた施設の一つです。アンバール州政府からの要請を受けて、UN-Habitat はアンバール大学構内にある92戸の女子学生向け住居施設を修復しました。この修復された施設は約400人を収容可能で、10月中旬に予定されている新学期の開始に向けて入居準備が進められています。各居住区画は上下水道施設、電気設備や天井扇風機を備えています。

UN-Habitat は紛争被災地域におけるコミュニティ中心の復興事業を推進しており、アンバール大学の居住施設修復事業は、都市復興支援の一環に位置付けられています。開所式典でエルファン・アリ UN-Habitat イラク事務所長は、都市復興イニシアチブにおける地域コミュニティ主導のアプローチが地域住民に対して社会的かつ経済的に活力を与え、より平和的で安定したコミュニティのため彼ら自身で活動計画を立案し、実施を可能にしたと確認しました。加えて、大学の役割を再活性化することは国内避難民の帰還の促進に貢献すると述べ、また、学問や研究への再度の参加を支援して積極的かつ肯定的な変化の担い手として積極的な役割を担う女子学生に対する支援を重視することの重要性を強調しました。